

令和7年
2025年

4月21日
月曜日

第11696号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】 株式会社食肉通信社
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



家畜伝染病防疫対策本部、開催……P5

CONTENTS

- ▶ 令和6年の冷凍食品生産額7799億円と過去最高を更新、生産量は減少……P2
- ▶ 全国家畜衛生主任者会議、鳥フルワクチン接種の検討など家畜伝染病対策の強化の方向性を示すー農水省……P3
- ▶ [人事異動] 農水省4月21日付……P3
- ▶ 4月の米フィードロット飼養頭数は前年比2%減の1163万8千頭……P4
- ▶ [配合飼料生産量・2月] 計182万2145tで前年比4.9%減……P4
- ▶ 近江牛を盛り上げるー滋賀三水会が総会……P5
- ▶ 家畜伝染病防疫対策本部、「今後の対策の徹底強化を図る」江藤農相……P5
- ▶ エバラ「ぷちっと中華」新CM、「高速、カンタン、1人前から」……P6
- ▶ 松屋「チーズバーガー丼」新発売……P6
- ▶ 【東京食肉卸売市場】牛は弱もちあい、豚は強含みか……P7
- ▶ 【大阪市食肉卸売市場】和牛3~4は強い、豚600円かそれを上回る……P7
- ▶ [POSランク2月その他加工肉製品]「ほぐしサラダチキン」が首位……P7
- ▶ [資料] 日本食肉流通センター週間市況〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉……P8
- ▶ その他加工肉製品2月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 18日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 18日……P11

注目のヘッドライン

令和6年の冷凍食品生産額 7799 億円
と過去最高を更新、生産量は減少

…詳細はP2

全国家畜衛生主任者会議、鳥フルワクチン接種の検討など家畜伝染病対策の強化の方向性を示すー農水省

…詳細はP3



改訂新版 牛枝肉・部分肉の分割と商品化

職人の技 カラー写真 丁寧な解説

新刊 B5判/216頁

定価 5,500円 (税込) (送料別)

食肉通信社

令和6年の冷凍食品生産額 7799 億円と過去最高を更新、生産量は減少

一般社団法人冷凍食品協会は17日、令和6年(1~12月)冷凍食品の生産・消費についての調査結果を公表した。それによると、同協会調べによる6年の冷凍食品国内生産は、数量が153万7854t(前年比0.5%減)と前年を若干下回った。また、金額(工場出荷額)は8006億円(2.6%増)と前年に引き続き、調査開始以来最高額を更新した。

用途別では、業務用は数量が79万8225t(1.2%増)、金額が3944億円(3.7%増)と、数量、金額ともに増加した。家庭用は、数量が73万9629t(2.3%増)、金額が4062億円(1.7%増)と、数量は減少したが、金額は増加した。

業務用と家庭用の比率は、数量ベースではそれぞれ51.9%、48.1%(前年51.0%、49.0%)と前年に引き続き業務用が上回った。金額ベースでは49.3%、50.7%(前年48.8%、51.2%)の割合で、引き続き家庭用が業務用を上回っている。

品目別にみると、大分類の品目別生産量では、農産物(前年比4.4%増)が増加したものの、国内生産の大半を占める調理食品(0.5%減)は減少し、水産物(1.2%減)、菓子類(5.0%減)、畜産物(13.9%減)も減少した。小分類の品目で前年に対して量的に大きく増加したのは、ラーメン類(5411t増、8.3%増)、ピラフ類(2819t増、5.8%増)、シューマイ(2003t増、5.6%増)などであった。減少したのは、うどん(8333t減、4.2%減)、コロッケ(2692t減、1.7%減)、グラタン・ドリア(2508t減、6.7%減)などであった(ただし、各分類中の「うち～、その他の～」を除く)

小分類の品目別生産量における上位20品目をみると、引き続き、1位うどん、2位コロッケ、3位ギョーザ、4位チャーハン、5位ラーメン類で、上位5品は前年と同様の順位であった。そのほか、パスタ(7位から6位)、ピラフ類(10位から9位)、シューマイ(13位から11位)、ポテト(17位から15位)が順位を上げた。

輸入品について財務省貿易統計をみると、6年のわが国の冷凍野菜輸

入量は116万7507t(4.3%増)、輸入額は3312億円(8.9%増)と共に統計開始以来最高となった。

調理冷凍食品輸入量は21万9153t(1.8%増)、金額は1700億円(4.2%増)。数量は5年ぶりに増加し、金額は3年連続で増加した。輸入量のうち、業務用は17万6017t(1.4%減)、家庭用4万3136t(7.4%増)となり、金額では業務用は1304億円(0.9%増)、家庭用は396億円(16.9%増)と、業務用は、数量は減少、金額は増加し、家庭用は数量、金額共に大幅に増加した。国別では、主要な輸入先の中国(773t増、0.8%増)、タイ(2762t増、3.1%増)、ベトナム(139t増、1.4%増)は数量、金額共に増加した。なお、この調査は、協会会員社のうち、輸入調理冷凍食品を取り扱っている33社を対象にしている。

同協会では、「冷凍食品国内生産量」「冷凍野菜輸入量」および「調理冷凍食品輸入量」の合計を冷凍食品の「消費量」としている。

6年のわが国の冷凍食品消費量は、上記の国内生産量153万7854tに、冷凍野菜輸入量116万7507tと、調理冷凍食品輸入量21万9153tを加えた292万4514t(1.5%増)と増加した。これを総人口(1億2380万2千人)で割った国民1人当たりの年間消費量は、23.6kg(0.4kg増)と増加した。また、金額ベースは1兆3018億円(4.4%増)と増加した。

協会は「調理冷凍食品の輸入は、協会会員だけを対象にした調査であり、会員以外の商社、流通業者らが輸入しているものを考慮すると、実際の消費量はこの292万tを上回るものと考えられる」と分析している。

冷凍食品の国内生産及び消費

冷凍食品の国内消費		令和5年	令和6年	対前年比	
数量	トン	国内生産	1,545,568	1,537,854	99.5%
		輸入冷凍野菜	1,119,589	1,167,507	104.3%
		輸入調理冷凍食品	215,230	219,153	101.8%
		合計(消費量)	2,880,387	2,924,514	101.5%
	総人口(千人)	124,352	123,802	99.6%	
金額	百万円	国内生産	779,905	800,564	102.6%
		輸入冷凍野菜	304,224	331,186	108.9%
		輸入調理冷凍食品	163,099	170,017	104.2%
		合計(消費金額)	1,247,228	1,301,767	104.4%
	1人当たり消費量(kg/人)	23.2	23.6	102.0%	

総人口の出典:人口推計(総務省統計局)

全国家畜衛生主任者会議、鳥フルワクチン接種の検討など 家畜伝染病対策の強化の方向性を示す―農水省

農水省は18日、令和7年度全国家畜衛生主任者会議を開催した。冒頭、江藤拓農水大臣は、「農水省が先頭を切ってやらなければいけないことも多々あるが、飼養衛生管理基準の徹底は現場でしかできないことである。皆さまの日頃の努力に感謝申し上げます。国内では家畜伝染病の発生が相次いでいる。また、海外では、口蹄疫やアフリカ豚熱など、一度発生すれば取り返しがつかないような病気も日本のそばまで迫ってきている。皆さまにおかれては、家畜疾病に対する警戒を怠らないようお願いしたい。その上で、農水省では、直近の発生状況を踏まえ、今後の家畜伝染病対策を強化する必要があると考えている」と述べた。続いて、農水省からは、これまでの家畜伝染病の発生状況を踏まえ、今後の方針が説明された。

鳥インフルエンザにおいては対策パッケージを進めていくため、今後家畜衛生部会家禽疾病小委員会ですべて具体的な検討を示していくことが説明された。対策パッケージは、①飼養衛生管理の強化②分割管理の推進③ワクチン接種の検討④まん延防止に向けた防疫措置の見直し―を柱とする。

「飼養衛生管理の強化」では、養鶏集中地域や過去続発地域をあらかじめ指定し、地域ぐるみでの野鳥対策や発生時の速やかな消毒対応などを実施。また、過去の調査報告も踏まえ、続発の一因と考えられる塵埃対策などを飼養衛生管理基準に新たに位置付ける。このほか、再発農家への改善確認の強化、飼養衛生管理に不順守がみられた場合の手当金減額率の見直し、飼養衛生管理基準への段階評価の導入が論点となる。「分割管理の推進」では、分割管理に取り組む場合の対応を法律に基づく飼養衛生管理基準に位置付けることや、大規模農場での分割管理の検討の義務付け、運用の見直しなどについて検証を行っている。

「ワクチン接種の検討」では、効果の高い新技術ワクチンの開発や欧米の状況を踏まえ、予防的ワクチン接種の導入に向けた検討を開始する。「まん延防止に向けた防疫措置の見直し」では、民間事業者の活用が進むよう、事業者のリスト化、研修の実施、事前の協議などの促進を検討していく。

豚熱については令和7年4月、養豚農業の振興に関する基本方針において、「豚熱については、今後、現下の発生状況やこれまでの対策の効果を踏まえつつ、関係者が連携し、清浄化に向けた道筋を示す」と示された。これを踏まえ、清浄化に向けたロードマップを策定すべく、今後具体的な検討を進めていく。ロードマップの基本的な考え方として、まずは、マーカーワクチンを早期に実用化し、これに切り替え、飼養豚での感染がない状況を確保し、「豚熱清浄国ステータス」を回復させる。また、殺処分については、これまでの知見を踏まえ、範囲の見直しが可能か、専門家を含め検証していく。一方、効果的な方策を検討しつつ、野生猪の縮小が可能となれば、猪の感染リスクがない地域から飼養豚のワクチン接種を中止することができる。最終的には、全国でのワクチン接種の中止を目指す。

水際におけるさらなる侵入防止対策については、組織的かつ反復した、悪質と思われる違反品の持ち込み事例も多く、現在「水際検疫の強化に向けた検討会」で、水際強化策の具体化・関係行政機関との連携強化の議論を進めており、この議論を踏まえ、法制度面も含め、強化策の具体化に着手していく。

ランピースキン病については、殺処分の命令など「家畜伝染病に対するまん延防止措置と同程度の措置を行えるよう家畜伝染病予防法に基づき、新たに政令を制定し、同病を第62条の疾病の種類と指定することについて、食料・農業・農村審議会に諮問している。

【人事異動】 農水省 4月21日付

大臣官房参事官／大臣官房付兼内閣官房内閣参事官〈内閣官房副長官補佐〉〈内閣官房米国の関税

措置に関する総合対策本部事務局参事官〉(畜産局総務課畜産総合推進室長) 新井健一

4月の米フィードロット飼養頭数は前年比2%減の1163万8千頭

米国農務省(USDA)が公表した1日現在の牛フィードロット飼養頭数(1千頭以上収容)は1163万8千頭と前月より6万1千頭増加し、前年同月より2%減少した。州別の飼養頭数は表のとおり。

導入頭数をみると、3月は前月より28万7千頭増加して184万1千頭となり、前年同月より5%増加した。導入頭数を体重別にみると600ポンド未満が33万5千頭、600~699ポンドが28万5千頭、700~799ポンドが47万5千頭、800~899ポンドが50万6千頭、900~999ポンドが17万5千頭、1千ポンド以上は6万5千頭だった。

また、3月の出荷頭数は172万5千頭と前月より9万2千頭増加し、前年同月より1%増加した。

単位:頭数は千頭、割合はパーセント

州	2024/4/1	2025/3/1	2025/4/1	前年比(%)	前月比(%)
アリゾナ	256	227	228	89	100
カリフォルニア	530	510	500	94	98
コロラド	990	1,010	1,000	101	99
アイダホ	345	335	340	99	101
アイオワ	660	670	680	103	101
カンザス	2,400	2,320	2,340	98	101
ミネソタ	105	-	-	-	-
ネブラスカ	2,540	2,590	2,600	102	100
オクラホマ	330	340	335	102	99
サウスダコタ	250	235	240	96	102
テキサス	2,840	2,640	2,670	94	101
ワシントン	250	260	260	104	100
その他	330	440	445	135	101
米国	11,826	11,577	11,638	98	101

【配合飼料生産量・2月】計182万2145tで前年比4・9%減

農水省が18日に公表した2月の配合飼料の生産・出荷・在庫状況(速報版)によると、生産量は182万2145t(前年同月比4・9%減)、出荷量は182万7762t(5・3%減)となった。

そのうち養鶏用をみると、成鶏は生産量が42万4707t(5・5%減)、出荷量が43万1775t(4・6%減)、ブロイラーは生産量が29万7559t(3・8%減)、出荷量が29万9166t(3・6%減)となっている。育すうは生産量が4万7840t(8・1%減)、出荷量が4万8297t(7・7%減)と前年同月を下回った。

養豚用の肉豚は生産量が19万2199t(6・1%減)、出荷量が19万5327t(6・0%減)、子豚は生産量が増加、出荷量は前年同月を下回った。

肉牛用は生産量が36万4637t(5・9%減)、出荷量は36万8414t(5・9%減)。

減)。肉牛用のうち子牛用は生産量、出荷量ともに前年同月を下回った。

配合飼料生産・出荷・在庫状況

単位:トン、%

	区分	生産量	前年比	出荷量	前年比	当月末在庫
養鶏用	計	770,108	95.0	779,238	95.6	10,695
	育すう	47,840	91.9	48,297	92.3	1,346
	成鶏	424,707	94.5	431,775	95.4	4,520
	ブロイラー	297,559	96.2	299,166	96.4	4,829
養豚用	計	441,704	96.9	424,927	92.3	15,436
	ほ乳期	49,529	94.0	50,203	95.0	7,136
	子豚	125,922	103.5	115,074	93.6	2,659
	肉豚	192,199	93.9	195,327	94.0	3,658
養牛用	種豚	74,054	96.5	74,323	96.5	1,983
	乳牛用計	241,842	93.8	241,521	93.3	28,490
	うち子牛用	13,695	100.6	13,078	95.0	3,931
	肉牛用計	364,637	94.1	368,414	94.1	29,311
	うち子牛用	50,679	89.6	51,157	90.6	8,760

注:工場数132

近江牛を盛り上げる－滋賀三水会が総会

滋賀県食肉三水会(島林伸行会長)は16日、滋賀県近江八幡市のカネ吉山本で第14回通常総会を開催した。総会では近江牛を盛り上げていくとしたほか、賛助会員による新製品プレゼンテーションが行われた。

総会は大黒利明副会長の司会で進行。あいさつに立った島林会長(写真)は「今、関西では万博が開催されている。前回の開催は1970年(昭和45年)だったが、そのときの開催には夢があった。今回は『いのち輝く未来社会のデザイン』をテーマに開催され、われわれ食肉業界にとっても大変興味深い。今までの商売の在り方が大きく変化する時代であり、これからは勉強会などの事業に取り組んでいきたい」と会員の協力を求めた。

次いで島林会長を議長に議案審議に移り、①令和6年度事業報告②同収支決算および監査報告③7年度事業計画④同収支予算をいずれも原案どおり承認した。来賓祝辞では滋賀県食肉事業協同組合の岡山光雄理事長が「さまざまなものが値上げされ、消費者は必要なものが買えず、生活防衛意識を強めている。こんなときこそピンチをチャンスと捉えたい。それができるのが若い力。滋賀県では国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会が予定されており、近江牛を全国にアピールするチャンスだ。われわれ親会は常に三水会をバックアップする態勢を取っている」



と強調。滋賀県農林水産部畜産課の富田文博課長は「今年は万博が開催されている。海外からも多数の観客が来日する。滋賀を訪れ、近江牛を食べる機会を持ってもらいたいが、大阪でも近江牛を食べてもらおうよう事業をやっていきたい」と述べた。

そのあと、近江牛PR部が昨年の実績を発表。「西川貴教さんが主催したSHIGA KOMECON2024およびびわ湖マラソンに出店し、近江牛の商品を廉価で販売し好評を博した。これまではイベントに出店したらいいくらいの意識だったが、『三水会って何』ときかれることも多い。これからは三水会をPRするとともに、加盟店の紹介なども積極的に行っていきたい。共通のSNSを開発するなど、全国の人々にアピールしていきたい」と決意を述べた。その後、賛助会員であるテラオカと中日本フードがそれぞれの新製品を説明。小憩を挟んで懇親会が行われた。

家畜伝染病防疫対策本部、「今後の対策の徹底強化を図る」江藤農相

農水省は18日、「農林水産省鳥インフルエンザ・豚熱・アフリカ豚熱合同防疫対策本部」を省内で開催した。

冒頭、江藤拓農水大臣は、「家畜伝染病においては、年明け1月に連続して発生した鳥インフルエンザ、先週宮崎の野生猪で発生した豚熱と、国内での発生が相次いでいる。このような発生状況を踏まえ、今後の対策の徹底強化を図るため、対策本部を開催することとなった」と述べ、鳥インフルエンザは、1月の

養鶏集中地域の連続発生において、国民生活にも大きな影響をもたらした」とし、養鶏集中地域や過去発生地域を指定し、地域ぐるみで対策を行うこと、分割管理の推進、ワクチン接種の導入に向けた検討を要請した。豚熱では、清浄化に向けたロードマップの策定など、水際対策では、違反品の悪質な持ち込みなどがみられることを踏まえ、法制度でも水際対策の強化に着手するなどを指示した。

エバラ「プチッと中華」新CM、「高速、カンタン、1人前から」

エバラ食品工業(横浜市、森村剛士代表)は、「プチッと調味料」シリーズの新ブランド「プチッと中華」を2025年2月7日から全国で発売開始した。これに伴い、俳優の瀬戸康史さんを起用した新CM「プチッと中華 回鍋肉(ホイコーロウ)」篇(15秒)と「同 麻婆豆腐」篇(15秒)を制作し、21日から全国で順次放送する。

今回の新CMでは、「高速、カンタン、1人前から」というメッセージの下、手軽に準備できる食材だけで、中華料理を1人分からサッと作れる「プチッと中華」の商品特長を表現している。

「プチッと中華 回鍋肉」篇では、豚肉とキャベツに「プチッと中華 回鍋肉」を入れて炒め合わせるだけで、手軽に作れる様子を描いた。「同 麻婆豆腐」篇では、大豆由来のそぼろが入っている「プチッと中華 麻婆豆腐 中辛」と豆腐を煮込むだけで、具入りの麻婆豆腐が仕上がる。煮込むだけでとろみが出るので、とろみ付け不要で作ることができる。「高速、カンタ



ン、1人前から」中華料理を作れる「プチッと中華」の便利さに驚いた瀬戸さんは「これがなかった!」と感心し、一口食べるとそのおいしさに満足気な表情をみせる。

中華料理は、少量を作るのが難しく、利用シーンが限定されるという課題があった。「プチッと中華」は、人数に合わせて手軽に中華料理を作ることができる「1個で1人分の中華調味料」なので、中華料理をより手軽に、カジュアルに楽しむことができる。

松屋 「チーズバーガー丼」新発売

松屋フーズ(東京都武蔵野市、瓦葺一利社長)は、牛めし・カレー・定食・その他丼の「松屋」で、22日から「チーズバーガー丼」(税込み890円)を販売開始する。

同商品は、ハンバーガーの王道・チーズバーガーを、大胆な松屋流アレンジで「丼」として再現した新感覚メニュー。ごはんの上には、ジュワッと肉汁が飛び出すハンバーガーとシャキシャキとした食感の野菜を乗せ、とろりと溶けたチーズが全体を包み込む。さらに、同店特製のトマトソースを使用しており、フレッシュなトマトの香りが全体を引き立てている。またトッ



ピングされた目玉焼きを合わせると、まろやかな風味が広がり、一体感のある味わいを楽しめる。見た目も味もインパクト抜群。食べ応え満点のガッツリ丼に仕上げた。

【訂正】本紙4月18日付、3面の肉類通関速報の記事および表中で、米国、EU、アジアの数量(伸び率)に誤りがありました。正しくは、米国が39,792t

(-12.5%)、EUが14,518t(-32.6%)、アジアが62,540t(8.8%)です。おわびして訂正します。

【東京食肉卸売市場】牛は弱もちあい、豚は強含みか

[牛] 前週、和牛は上物ほど価格が伸びず、雌はGWに向けた手当てによる堅調な相場展開から一服感も。交雑牛の雌は堅調に推移しており、とくに2～3等級は雌、去勢共に引き合いが強く、高値相場が続いている。地方の量販店などの連休向け手当てが動いたとみられる。

末端をみると、和牛、交雑牛共に焼き材の動きは活発になっており、とくにカタバラは値を上げている。引き合いは価格の安い物に集中しており、GW向けなどで企業によってはオファーがあるものの、カタローは荷余り感が続いている

今週、東京市場の上場は平均390頭ほど。連休直前の駆け込み需要も考えられるが、大きな動きはないだろう。和牛去勢A5は2500～2600円、A4は2200～2300円、A3が2100～2200円、交雑牛去勢はB4が1600～1700円、B3が1500～1600円の弱もちあ

いが予想される。

[豚] 全国と畜頭数は引き続き6万頭台前半で推移。出荷頭数は決して多くはないものの、枝肉相場は引き続き軟調な展開となっている。前週後半にはやや反発したものの、上物価格は600円を割り込む展開が続いている。

気温が上昇する中、行楽需要の増加やバーベキューシーズンが本格化してきたことから、荷動き良化に期待がかかるが、全体的な動きはそれほど強くない。

ただ、来週からはいよいよGWとなり、連休に向けた手当てが強まることが予想される。連休の前後で出荷頭数にはバラツキがありそうだが、基本的には頭数が減少する時期となるだけに、相場は上昇基調となりそうだ。

今週も強含みか。

【大阪市食肉卸売市場】和牛3～4は強い、豚600円かそれを上回る

[牛] 4月の需要期とあって、相場は堅調。関西圏の市場は総じて強い引き合いがあり、需要の高まりを感じさせる相場を形成している。

特に高値なのが和牛4等級。5等級に迫る価格となっている。物価高への対応や赤身志向、5等級発生率の高まりの中で、和牛3～4等級のニーズが強まっており、この先も堅調な相場が予想される。和牛5等級はもちあいか弱もちあい。

交雑牛についても、低価格志向が強まっている中で、B3等級1600円台の価格を堅持。4月中は変わらず高値が続くだろう。

[豚] 「上」発生率が高くなかったこともあって、前週も豚枝肉価格は高値となった。今週についても需要は保たれ、引き続き価格は下がらないとみる。600円程度か、もしくはそれを上回りそうだ。

【POSランク2月その他加工肉製品】「ほぐしサラダチキン」が首位

(株)KSP-SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した2月POS/その他加工肉製品売れ筋ランキングによると、シジシージャパン「ほぐしサラダチキン」(100g)が首位だった。

2位はシジシージャパン「サラダチキンプレーン」(125g)、3位は伊藤ハム「ソラチのタレ使用ジンギ

スカン」(180g×3)、4位は日本ハム「サラダチキンプレーン」(156g)、5位はイオントップバリュ「手仕込みローストビーフシルキーカット」(108g)だった。対象店舗1050店舗の総販売金額は2億3896万6249円。

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和7年4月6日~4月12日)

(単位:キログラム当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量		
		和牛チルド「4等級」	首都圏	3,566	3,888	4,428		3,861	5,469	近畿圏	3,240	3,742	4,162	3,676
		3,285	3,450	3,681	3,466	8,911		3,442	3,577	4,158	3,609	4,389		
		2,160	3,532	3,802	3,203	1,910		2,270	2,739	2,930	2,683	1,765		
		-	-	-	-	275		-	-	-	-	-		
		9,504	9,845	12,581	10,131	1,123		9,180	9,919	10,012	9,849	1,181		
		7,450	7,450	8,518	7,581	2,023		5,616	6,048	6,269	6,012	3,313		
		5,500	6,066	6,477	6,102	2,298		-	-	-	-	-		
		1,836	2,217	2,272	2,144	9,891		2,106	2,787	3,132	2,721	6,131		
		4,119	4,308	4,983	4,391	1,158		3,661	3,672	4,320	3,855	1,823		
		3,874	3,996	4,320	4,066	1,981		3,674	3,835	4,169	3,851	2,171		
		3,940	4,050	4,256	4,064	2,055		3,672	3,882	4,320	3,897	1,718		
		3,024	3,402	4,400	3,559	2,180		3,540	3,672	3,696	3,628	1,380		
		1,895	1,909	1,998	1,915	2,862		1,944	2,027	2,087	2,020	1,975		
		4,103	4,166	4,188	4,155	9,712		3,297	3,532	3,672	3,519	7,082		
		3,672	4,379	4,688	4,200	21,427		3,456	3,618	4,406	3,711	6,576		
	重量合計						73,275							43,877
	中京圏	-	-	-	-	622		-	-	-	-	611		
		-	-	-	-	788		-	-	-	-	553		
		2,741	2,778	3,024	2,831	1,447		-	-	-	-	196		
		-	-	-	-	443		-	-	-	-	166		
		-	-	-	-	314		-	-	-	-	322		
		1,782	1,998	2,218	1,988	1,480		1,577	1,836	4,126	2,198	1,315		
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	56		
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	341		
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	150		
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	320		
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	458		
		-	-	-	-	901		-	-	-	-	-		
		3,637	3,637	3,762	3,655	4,249		3,340	3,888	4,169	3,842	4,530		
	重量合計						10,244							9,018

(令和7年4月6日~4月12日)

交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,538	2,622	3,303	2,787	10,891	近畿圏	2,646	2,916	3,078	2,885	10,834	
		カタタ	2,322	2,610	2,726	2,555	5,764		2,382	2,392	2,592	2,434	7,471	
		カタバラ	1,919	2,054	2,804	2,212	3,003		1,458	1,608	2,191	1,625	3,822	
		ヒレ	5,930	6,340	6,534	6,267	2,777		6,480	6,696	6,823	6,691	2,818	
		ロイン	3,821	4,117	4,212	4,128	1,838		4,585	4,654	4,761	4,656	4,453	
		トモバラ	1,620	2,615	3,170	2,566	9,218		1,512	1,620	2,263	1,715	9,332	
		ウチモモ	2,376	2,462	2,592	2,480	3,087		2,376	2,484	2,649	2,475	4,012	
		シントマ	2,376	2,444	2,631	2,458	3,115		2,430	2,592	2,757	2,590	3,836	
		ランイチ	2,341	2,453	2,557	2,441	4,386		2,484	2,538	2,668	2,556	4,408	
		ソトモモ	1,998	2,030	2,162	2,050	2,451		2,210	2,268	2,499	2,351	4,740	
		スネ	1,512	1,620	1,632	1,593	2,509		1,512	1,620	1,672	1,606	4,268	
モモセット	-	-	-	-	-	2,484	2,646	2,783	2,600	4,795				
セット	2,698	2,879	3,151	2,910	21,903	2,902	3,078	3,240	3,051	30,222				
	重量合計						70,942							95,011

乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,582	2,782	2,970	2,799	2,193	近畿圏	2,365	2,408	2,858	2,428	6,197	
		カタタ	-	-	-	-	435		1,669	1,958	2,333	1,986	3,405	
		カタバラ	-	-	-	-	466		-	-	-	-	-	
		三角バラ	-	-	-	-	-		2,678	2,808	3,240	2,904	1,259	
		ブリスケット	-	-	-	-	-		1,296	1,296	1,350	1,309	2,112	
		ヒレ	5,099	5,151	5,400	5,195	1,573		4,860	5,310	6,048	5,358	2,423	
		ロイン	3,132	3,132	3,456	3,209	1,088		3,211	3,599	4,158	3,688	2,116	
		トモバラ	1,242	2,679	3,251	2,299	3,265		1,171	1,836	2,249	1,676	5,617	
		ウチモモ	1,998	2,106	2,314	2,116	1,639		1,998	1,998	2,160	2,044	4,811	
		シントマ	1,994	2,100	2,214	2,105	1,198		1,836	1,858	1,998	1,893	1,534	
		ランイチ	2,100	2,268	2,268	2,226	1,541		1,744	1,944	2,052	1,939	2,555	
		ソトモモ	-	-	-	-	895		1,890	2,052	2,970	2,164	1,481	
		スネ	1,480	1,512	1,674	1,533	1,048		1,512	1,566	1,620	1,567	3,161	
セット	2,363	2,529	2,530	2,512	18,117	1,780	1,781	1,967	1,828	26,388				
	重量合計						33,458							63,059

その他加工肉製品2月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年2月 対象店舗数::1,050店舗 品目合計:2億3,896万6,249円

順位	メーカー名 / アイテム名		金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	シジシージャパン	ほぐしサラダチキン 100g	5,445,560	26,009	209.4	2.3	3.6	25.8
2	シジシージャパン	サラダチキンプレーン 125g	4,784,298	23,384	204.6	2.0	3.3	26.8
3	伊藤ハム	ソラチのタレ使用ジンギスカン 180g×3	3,944,050	4,830	816.6	1.7	0.7	3.4
4	日本ハム	サラダチキンプレーン 156g	3,613,735	12,510	288.9	1.5	1.8	36.7
5	イオントップバリュ	手仕込みローストビーフシルキーカット 108g	3,357,751	6,945	483.5	1.4	1.0	9.9
6	プリマハム	サラダチキン3連プレーン 180g	3,192,338	11,513	277.3	1.3	1.6	22.1
7	丸協食産	牛シロモツ 400g	3,148,762	4,400	715.6	1.3	0.6	10.0
8	丸大食品	サラダチキン切落し プレーン 100g	2,886,552	13,695	210.8	1.2	1.9	32.1
9	共栄食肉	味付ロースジンギスカン 330g×3	2,752,144	2,569	1,071.3	1.2	0.4	4.0
10	プリマハム	香薫ミニステーキ 86g	2,613,568	11,849	220.6	1.1	1.7	41.8
11	プリマハム	サラダチキン3連ハーブ 180g	2,574,738	9,262	278.0	1.1	1.3	21.1
12	紀文食品	牛すじ 3本	2,549,272	6,876	370.8	1.1	1.0	8.5
13	米久	くらし 肉だんご 330g	2,526,620	9,001	280.7	1.1	1.3	6.0
14	プリマハム	合鴨スモーク 170g	2,521,002	7,694	327.7	1.1	1.1	38.0
15	日本ハム	サラダチキンハーブ 156g	2,333,449	8,075	289.0	1.0	1.1	31.2
16	伊藤ハム	糖質0サラダチキンハーブ 183g	2,288,608	7,786	293.9	1.0	1.1	16.1
17	伊藤ハム	こてっちゃん もつ鍋醤油味 500g	2,288,564	6,094	375.5	1.0	0.9	50.3
18	共栄食肉	まるやかジンギスカン 300g×3	2,265,903	2,559	885.5	1.0	0.4	4.3
19	丸大食品	サラダチキン切落し ハーブ 100g	2,201,792	10,691	206.0	0.9	1.5	32.7
20	シジシージャパン	サラダチキンブラックペッパー 125g	2,200,944	10,963	200.8	0.9	1.5	24.8
21	丸協食産	ローストビーフ和風仕立て 90g	1,981,724	4,898	404.6	0.8	0.7	7.0
22	シジシージャパン	サラダチキンハーブ 125g	1,939,057	9,714	199.6	0.8	1.4	25.5
23	丸協食産	焼肉用牛ホルモン 200g	1,898,553	4,750	399.7	0.8	0.7	10.7
24	伊藤ハム	糖質ゼロサラダチキンプレーン 183g	1,897,686	6,528	290.7	0.8	0.9	15.7
25	西日本パッカー	牛すじ	1,882,135	2,656	708.6	0.8	0.4	2.4
26	伊藤ハム	こてっちゃん もつ鍋味噌味 500g	1,865,304	4,989	373.9	0.8	0.7	46.8
27	プリマハム	炭火焼ローストビーフ 120g	1,860,947	2,682	693.9	0.8	0.4	14.7
28	イオントップバリュ	手仕込みローストビーフシルキーカット 190g	1,822,234	2,286	797.1	0.8	0.3	6.4
29	丸協食産	コリコリ塩ホルモン 200g	1,808,234	5,176	349.4	0.8	0.7	15.5
30	恵風	牛すじ串 4本	1,785,760	4,165	428.8	0.8	0.6	5.5
31	星山商店	白ホルモン味付け 400g	1,747,170	1,839	950.1	0.7	0.3	1.8
32	紀文食品	おでんや 味がしみ込だ牛すじ串3本 65g	1,735,214	3,680	471.5	0.7	0.5	21.3
33	イオントップバリュ	手仕込みローストビーフシルキーカット 60g	1,729,293	5,056	342.0	0.7	0.7	9.8
34	日本ハム	蒲焼鶏スライス 103g	1,670,114	6,202	269.3	0.7	0.9	14.7
35	フィード・ワンフーズ	やわらか仕上げ国産豚白もつ 800g	1,588,410	1,811	877.1	0.7	0.3	1.5
36	丸大食品	サラダチキン切落しスモーク 100g	1,572,279	7,427	211.7	0.7	1.0	23.4
37	伊藤ハム	ソラチオリジナルのたれ使用 ロースジンギスカン 200g×3	1,571,972	1,591	988.0	0.7	0.2	2.8
38	日本ハム	角煮トンポーロー 115g	1,528,219	4,140	369.1	0.6	0.6	23.1
39	プリマハム	合鴨バストラミ 170g	1,454,938	4,608	315.7	0.6	0.6	32.8
40	丸協食産	タレ焼き豚レバー 250g	1,410,861	4,138	341.0	0.6	0.6	13.0
41	米谷産業	米谷 炭や 塩ホルモン 280g	1,407,018	2,409	584.1	0.6	0.3	5.5
42	シジシージャパン	サラダチキン スモーク 110g	1,401,900	7,077	198.1	0.6	1.0	19.4
43	アマタケ	サラダチキン プレーン 100g	1,400,589	5,177	270.5	0.6	0.7	12.6
44	フリーデン	国産豚白もつ 700g	1,396,505	1,724	810.0	0.6	0.2	3.0
45	滝沢ハム	豪州産炭火焼ローストビーフスライス 60g	1,364,738	3,504	389.5	0.6	0.5	2.6
46	カネテツデリカフーズ	味付け牛すじ肉真空 3串	1,363,022	2,716	501.9	0.6	0.4	11.1
47	シジシージャパン	サラダチキン チャーシュー 125g	1,358,705	6,806	199.6	0.6	1.0	19.0
48	奥野寿久商店	牛すじ 18g×4	1,224,434	2,967	412.7	0.5	0.4	3.6
49	西日本パッカー	国産牛すじ	1,193,196	2,371	503.3	0.5	0.3	2.7
50	アントレ	南光園ホルモン味噌 200g	1,190,525	2,554	466.1	0.5	0.4	6.2

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月18日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,600	2,503	2,202	-	-
		安値	2,182	2,100	2,060	-	-
		平均	2,507	2,292	2,137	1,878	-
	100頭	頭数	71	21	7	1	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	2,159	2,237	-	-	-
	2頭	頭数	1	1	-	-	-
	去 A	高値	3,839	2,440	2,112	-	-
		安値	2,178	2,052	1,864	-	-
		平均	2,680	2,315	2,037	1,871	-
	155頭	頭数	121	30	3	1	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B 10頭	平均	-	-	-	1,181	
	去 C 1頭	平均	-	-	-	1,184	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,719	1,590	1,529	-
		13頭	頭数	-	5	5	3
	雌 C	平均	-	-	1,525	-	-
	1頭	頭数	-	-	1	-	-
	去 B	平均	1,904	1,774	1,608	1,528	-
44頭	頭数	1	11	22	10	-	
去 C	平均	-	1,796	1,493	1,488	-	
4頭	頭数	-	1	2	1	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	394 408	1,035 985	- 223.0	(競り)	(相対)	
				-	23	55

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,501	1,623	1,436	1,335	-
	B	-	1,397	1,396	1,312	1,080
和 去	A	2,412	2,111	1,835	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	902	897
	C	-	-	-	898	872
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,556	1,486	1,457	-
	C	-	-	-	-	756
交 去	B	-	1,727	1,568	1,469	-
	C	-	-	-	1,456	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	621	809	801	737	725
	安値	579	551	527	454	324
	平均	600	587	564	540	488
	頭数	(9)	(283)	(373)	(230)	(90)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	660	638	464	475
	安値	-	660	486	410	378
	平均	-	660	568	444	442
	頭数	(-)	(4)	(5)	(5)	(9)

[大阪食肉卸売市場] 4月18日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,517	2,329	-	-	-
(頭数)	(6)	(9)	(-)	(-)	(-)
B	2,206	2,054	2,052	-	-
(頭数)	(2)	(2)	(1)	(-)	(2)
和 去 A	2,597	2,244	2,062	-	-
(頭数)	(24)	(11)	(3)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(1)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	1,918	1,804	1,595	1,484	-
C	-	1,620	-	-	-
交雑去 B	-	1,772	1,609	1,480	-
C	-	1,621	1,547	1,462	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	4月18日	4月17日	(4月累計)
豚	61,900	64,000	874,700
成牛計	4,570	4,280	64,230
和牛雌	1,180	1,260	16,570
和牛去勢	880	1,070	17,150
乳牛雌	700	660	9,760
乳牛去勢	360	420	6,060
交雑雌	710	310	6,710
交雑去	740	560	7,950

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 4月18日

	1,501円	(前日 1,580円)
東京		
大阪	1,568円	(前日 1,562円)

[豚・全農建値] 4月18日

上	中	取引頭数	市況
580円	562円	1,022頭	反発

と畜 売買	牛 100頭	豚 77頭	牛概況	もちあい
	牛 120頭	豚 50頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月18日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	594 (594)	- (-)	5,823	-	もちあい
仙台 [中]	558 (550)	487 (485)	485	102	続伸
栃木 [地]	575 (561)	541 (528)	1,610	81	反発
茨城 [地]	584 (588)	565 (570)	1,149	540	弱もちあい
群馬 [地]	556 (552)	504 (489)	1,832	444	小幅高
さいたま [中]	573 (569)	566 (557)	225	222	強もちあい
東京 [中]	587 (572)	564 (553)	1,035	985	上伸
横浜 [中]	582 (574)	557 (551)	695	687	反発
山梨 [地]	- (628)	- (591)	67	6	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	593 (582)	556 (559)	910	269	上伸
京都 [中]	574 (624)	576 (570)	83	67	もちあい
大阪 [中]	- (656)	- (629)	77	-	上場なし
神戸 [中]	584 (650)	578 (646)	-	58	下押し
岡山 [地]	687 (704)	694 (692)	293	242	弱気配
広島 [中]	- (-)	- (-)	275	46	-
福岡 [中]	573 (572)	539 (539)	542	164	もちあい

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 4月11日～4月17日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,671,474 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,058	1,155	1,229	1,163	72,005
うで	755	814	845	806	130,150
ロース	1,040	1,112	1,199	1,122	159,384
ばら	1,112	1,192	1,220	1,185	173,938
もも	788	799	842	805	240,243
ヒレ	1,066	1,296	1,350	1,253	9,469
セット	948	1,028	1,064	1,026	886,285

◇近畿圏 総重量 657,288 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,182	1,321	1,354	1,285	48,181
うで	745	770	799	774	106,835
ロース	1,080	1,268	1,296	1,234	85,307
ばら	1,210	1,255	1,297	1,257	113,756
もも	740	765	798	767	166,094
ヒレ	1,188	1,261	1,375	1,281	9,322
セット	907	1,070	1,137	1,037	127,793

[食鳥正肉日経相場] 4月17日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	727	806	953	205
ムネ	405	452	597	187

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	717	773	1,010	6
ムネ	396	449	570	6

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月17日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,072	669	550	600	650
安値	730	396	290	360	350
平均	809	456	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

◆業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

◆畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

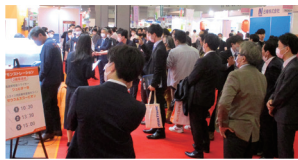
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

◆国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランクett判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

◆あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃 監

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

◆知識を豊かにする

食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

◆大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

◆東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

◆九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。